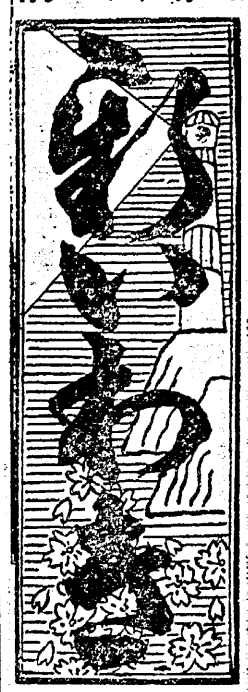
(昭和五年三月廿一日第三種郵便物認可)　新いわき　昭和十三年一月二十七日（木曜日）　第二千二百五十七號　(一)

一月二十六日　夕刊



日刊但シ日曜祭日型
日休刊一ケ月廿五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料　一行四十錢
特約所指定　二十錢增
發行兼編輯印刷人　平谷義喜
發行所　福島縣平市大町二三　新いわき新聞社

林大將の熱辯
聽衆四千の盛況
昨夜第三小學校に於ける

前首相林銑十郎大將を聘ぶ平市の時局講演會は慶報の如く昨二十五日午後五時から同市第三小學校講堂に於て催されたが入場者豫期以上の殺到で午後四時頃から會場に押かくるもの列をなし同五時既に講堂は立錐の餘地なく詰まる約二千人で締切り同校の作法裁縫室にスピーカーを備えて提供した會場も忽ち滿員尚ほ屋外に立つ聽衆を合すれば少なくも四千人を算せられた講演は伊藤平助役の開辭で國歌合唱、宮城遙拜、終つて藤田在軍聯合分會長の朗讀せる別項決意宣明を拍手裡に決議愈よ劃れる樣な拍手に迎ひられて壇上に起つた林大將は「長期戰に對する國民の覺悟」を演題下に軍事經濟思想に分けて日露役及び歐州戰亂に於ける事實を例して殊に銃後の護の爲め熱辯縷々二時間非常な感動を與へて八時近く散會した

講演會に決意宣明

今次支那事變勃發して既に半歲忠烈比なき皇軍の將兵は克く炎熱に耐へ酷寒を冒し時に惡疫と戰ひ百難を排して一死邦國に捧ぐ盡忠報國の悲壯なる決意と其勞苦は吾等銃後國民の衷心感謝感激に堪へざる所なり、神速果敢なる皇軍の作戰は逸早く難攻上海を屠り首都南京を陷落す衰に贓滅たる北支を席捲し近く山東の攻畧亦成れり新興臨時政府北京に成立し北支は漸く明朗化し東洋の平和自ら確立せられんとす然りと雖も暴戾飽くなき軍閥將政權は今や反省和平の意志なく徒らに長抵抗持久抗戰の對策に余念なきのみならず帝國を繞る國際の狀勢は日に複雜微妙化し必ずしも將來の踟躕を許さず今や皇軍は眞に前古未曾有の一大國難に直面せり吾等は茲に時局の認識を一層深むると共に益銃後の護りを强化し向後時局が如何に進展し萬難更に加はるとも県市一体堅韌持久屈せず撓まず時艱克服國難突破に邁進し以て聖旨に副ひ奉らむことを誓ふ、本日茲に陸軍大將林銑十郎閣下を迎へ平市民時局大講演會を催すに當り敢て市民の決意を宣明す、

一月二十五日　平市民時局講演會々衆一同

縣有地に喰ひ込み
きつい交渉に驚く
仲の作港埋立地の約三十戸
放置してた縣にも責任

石城郡江名町仲の作漁港の縣場埋立地に添ふて建築されてゐる民家約二十棟（關係者十七名）が一間乃至二間ぐらゐつゝ縣有地に食ひ込んでゐることを最近になつて發見した縣當局から右關係者に對し遽かに無談占有を責めきつい交渉を發せられたので建築後既に十數年を經過し方樣な事實を氣づかなかつた關係者の驚き一方でなく境界の不分明から縣としても今日まで放置されてゐたものを直ちに家屋の移轉や建間を削る樣な苦惱に立てる關係者一同は種々善後策を協議中であつたが此の際特別の證證を以て永年貸付してくれるか其れが出來なければ相當の期間を付して使用方を許可して貰はねばならぬと昨二十五日作山町長外選藤數馬、吉田貞吉氏の兩代表出縣陳情したがこれには縣も相當の斟酌をなすことになるであらうと

石城販賣利用組合
第十三回通常總會
剩余金三千八百三十六圓余
出資者の配當は年四分

石城郡販賣利用組合では昨二十五日午前十時から平市マルトモホールに第十三回通常總代會を開き十二年度の財産目錄、貸借對照表、事業報告、剩余金處分の件及び余祐金の預入銀行を常陽、七十七兩平支店となすこと十三年度の借入最高を三十万圓及び各種積立金を事業資金に運用の件並びに四倉驛前菜種搾油所に白絞機設備竣功、石双乾繭組合聯合會設立の諸件を附議原案の通り決定したが損益計算は左記の如く出資者に對する配當は年四分である

▲總益金二三六六三圓一九錢　總損金一九八二六圓五〇錢　差引三八三六圓六九錢この處分一〇〇〇圓準備積立金　一一五二圓七五錢　特別積立金　一八一三圓一四錢出資排込充當七七〇圓）

常識講座

アダプテエションは好かれたいもの、誘ひ愛を求めんとするもの、誘ひの意だ、故に服裝を飾るもの、起り服裝の原理はアダプテエションだなどゝ云ふ、アダプは人間の始祖の事

市街地建築物法と解說と指導
來る廿八日平署に於て

平市及び隣接地好間村（磐越東線以東）の一部に對し來る二月一日から市街地建築物法を施行されることは曾て詳報したが右に關して來る二十八日午後零時半から平署では同署會議室に管內の家主及び請負業者並びに代書人、建築業關係者等を招集し縣から中川技師出張法規の解說及び打合せの說明ある筈だが一般關係者は成るべく出席されたいと

平の年末氣景
平驛に於ける舊年末の貨物
上中旬で既に二千圓の增收
目立つ增加は塩魚と野菜

平驛に於ける今一月の貨物は舊年末に當る爲め非常な幅輳で期節もの、鹽乾魚、野菜、果物（殊に密柑が多い）類の激增と鰯の〆粕、石炭の動きが引續き活況なので上中旬の取扱ひ高を上ぐれば

發送上旬一〇四九噸（一九六四）中旬一二七一噸（一七四八）計二三二〇噸（三七一二）

到着上旬四二七四噸（四三一八）中旬七九三七噸（六三〇四）計一二〇七〇噸（一〇六二二）

收入上旬三二四六圓（二八四四）中旬九一三五圓（三四九四）計八三八一圓（六三三八）括弧內は何れも前年同期

戰地の便り
敵もさる者なり
城壁上に機關銃座
(3)
胡摩澤出身　佐々木道典

進めッ、進めッ、爆進ッ、まがり曲つて遂に城門七十米の地點に肉迫、道路兩側の家屋は敵火網の爲めバリ〳〵バリ〳〵と破れ（註城門外は長善市南京府の一部）道路上の埃が舞で揚いた時の樣に立ち上る一緒に前進した輕裝甲車がアツー、アーツ、戰友は輕裝のまゝ、たつた二分間の中にア一戰友は……〇〇……〇〇〇……〇〇敵もさるもの城壁上の〇米間隔に敷いた機關銃座、戰友ッ……戰友ッ右から左から正前から敵の彈丸で五尺二、三寸の体に〇〇發も身に受けて殘念だッ、何くそ、戰友は倒るゝとも悲壯な元氣……右に倒れんとすれば左の彈に、左に倒れんとすれば右の彈に……どちらに倒れたらよいのか正面に倒れんとすれば正面の彈に……嗚呼遂に戰友は……（實際の狀況）次に豫備班前進ッ目標は前に同しッ

× × ×

道路兩側家屋內に待機してゐた將兵も次から次に彈を食ふ……斯して夜に入り斯して記念すべき昭和十二年十二月十二日午後十時南京南門は陷落したのです、

銃後人の緊張に
崇られた飲食店
加之に嚴しい規則の改正で
漸く悲鳴を上げて來る

支那事變による銃後人の緊張は何れも冗費節約に志されてゐる爲め此の影響を最も濃厚に受けつゝあるものは飲食店の類で日頃に於ける遊興者の乏しさとたま〳〵登樓されたものも使ひ方が少ないのとで漸く悲鳴を上げて來たところへ此の方面に對する取締規則の改正で女の客引は差止められた外この種の業の一般に嚴重な其筋の目が光るので平市內でも經營困難に瀕してゐるものが相當に數へられて居り來る舊正月の結果がどうか若し思ふ樣でなかつたとすれば四月の花見期節まで支へ得さうでないものも少なくないので廢業が續出しはせぬかと見られてゐる

平のチフス漸く終熄　平市に於ける腸チフスの流行は三十名の發生で死亡三名轉廊一名現在二十六名を收容されてゐるが外に猩紅熱二名何れも經過良好らしく尙ほ氣遣はれてゐるチフスは二十三日までの引續ける收容を絶ち今二十六日まで一名の新患者を見ないので大体これで終熄かと安堵されるに至つた

放火に懲役八年

平市四丁目ゴム靴店石城郡夏井村生れ木田惣吉（三六）が火災保險金慾しさに放火した事件は屢報の如く昨二十五日平支部の公判で懲役八年を求刑されたが言渡しは來る二十九日の筈

御婚禮御贈答品は
高橋呉服店
平二番三六

産業面

水車で作業の動力化

四十圓で効果萬點

ガソリン消費を避けた水車應用の動力農業經營が相當の能率を上げてゐるお話、これは岩手縣西磐井郡萩荘村字上黒澤佐々木鐵造氏が考案主で今秋經費四十圓を投じ自宅前の小川を利用し水車を施設した、この水車には二坪ぐらゐのバラックを設け一斗二升五合搗きの精米臼二個を備へ一晝夜に一石の精白が出來る、水車の直徑は八尺でこれと並べて經三尺の水車を付けこれに藁繩のベルトをかけ十二間離れた自宅の仕事場に引き込み稻の脫穀と籾摺を行ひ更にトウミにもこの繩ベルトを使用し萬事自動的に作業させる仕組みだ、これによると脫穀など一人ときの足踏機だと家族總動員で一日せい〳〵一反五畝ぐらゐなのが倍の三反歩は容易であり籾摺も一日に玄米五石を得ることは請合ひしかも煙草を吸ひながら悠々出來ると云ふ重寶振りだ、佐々木氏の語るをところ上げると使つて見て驚きましたがなか〳〵便利です、水車の輪は一尺五寸にしましたがもつと廣くしたなら更に少量の水でも足るでせう、これで十年ぐらゐは使へるだらうと思つてゐますから安いものです、其のうちに製繩機にも應用して見ようと考へてゐます(完り)

◇一般印刷物も御引受致します　新いわき新聞社

牛も豚も優良品の自慢
平市 屋三一三 町田 御肉の用命は

藤沼醫院
七〇五電 平市紺屋町

舊年末、年始の御進物には
贈つて便利！
受けて重寶
ツルヤの商品券を
その他、防寒洋品
化粧品、箱入豊富
ツルヤ
平四 ・ 電一四〇

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、鑄齒架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントケン科
平市田町(松月堂向ひ)
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野恵次
日本齒科醫學士 西川誠
電話五(九)番

表代城磐酒銘
美味經濟
醬油ハワマヤ
山崎合名會社
電話十番

債券 公債 両替 金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

『看護見習募集』
明雲堂眼科醫院(電話六六九)
平田町(三丁目裏川岸通)
入院應需(自炊の便あり)

食事。喫茶。酒場を兼ねた。
レストラン サロン
平田町 電二五三

専門
皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より 午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番
江尻醫院

便利で經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員(同志)の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
平市田町十八(西村屋横町)
日下家政婦會
會長 日下すい子
電話七二三番

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
晝夜診療
北川外科
(血液檢査毎日)
イツデモ入院デキマス
平市新川町二七(電四六四)
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保

病室增築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町『電話三六九番』

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關内正一 平町二丁目 電話一六番
非務取扱者 阿部助次郎